

氏名	岡田茂治	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	一般臨床検査学				
学位	博士（医学）				
学歴	1983年3月埼玉衛生短期大学衛生技術学科卒業、2000年3月放送大学卒業、 2016年3月順天堂大学医学研究科（博士課程）卒業				
経歴	1983年4月埼玉県職員採用埼玉県立がんセンター配属、2003年4月埼玉県立循環器・呼吸器病センターへ異動、2009年4月埼玉県立がんセンターへ異動、2019年4月埼玉県立大学健康開発学科検査技術科学専攻准教授採用				
所属学会（役職）	日本臨床衛生検査技師会、埼玉県臨床検査技師会、日本臨床検査教育学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	「臨地実習前技能到達度評価」について～一般検査分科会～	単著	あり		日本臨床検査教育学会18巻1号(2026年3月) P48-53	岡田茂治	2026.03
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	尿中異型細胞のAI(Deep learning)分類モデル開発の試み 尿沈渣鏡検アシストツールを目指して	共同	第74回日本医学検査学会 グランキューブ大阪		○岡田 茂治, 小関 紀之	2025.05	
2	AI技術を活用した膵癌細胞診画像認識と病理レポート予測モデルの開発	共同	第74回日本医学検査学会 グランキューブ大阪		○田近 洋介, 岡田 茂治, 辻岡 和孝, 小黒 凌輔, 橋本 亜紀子, 萩原 愛弓, 池田 和人, 折田 恵, 高田 尚良, 平林 健一	2025.05	
3	女性の都道府県別大腸がん検診データ解析による地域差の実態と経年変化の検討	共同	第53回埼玉県医学検査学会		○照沼 七美, 石原 桂一郎, アボノジェ 梨子, 西山 友菜, 岡田 茂治	2025.12	
4	汎化性能を高めた尿中異型細胞のAI判定モデル構築の試み	共同	第53回埼玉県医学検査学会		○石原 桂一郎, アボノジェ 梨子, 照沼 七美, 西山 友菜, 岡田 茂治, 小関 紀之	2025.12	
5	生成AIを活用したデータ拡張による穿刺液画像分類AI(Deep learning法)の開発	共同	第53回埼玉県医学検査学会		○アボノジェ 梨子, 石原 桂一郎, 西山 友菜, 保科 ひづる, 照沼 七美, 岡田 茂治	2025.12	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	臨床検査とAI(artificial intelligence) 臨床検査はAIにどう向き合っていくか	単独	第53回埼玉県医学検査学会 シンポジウム		○岡田 茂治	2025.12	
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	民間企業	尿沈渣検査における異型細胞検出アルゴリズムの構築			岡田茂治	2027.11.30まで	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	一般臨床検査学	○	16	基本的考え方や知識だけでなく臨床疾患との結びつけた
2	臨床検査管理総論	○	16	臨地実習にあたり必須な内容を盛り込んだ
3	臨床検査概論		1	1年生の最初の講義であることから、初学者にも理解できる臨床検査として概要を解説した
4	検査機器総論		3	臨床検査機器の最新情報とその臨床的意義、管理の重要性について解説した
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	検査管理演習	○	16	4年生対象科目なので、臨床現場での検査管理法、研究手法など実践面をテーマにした演習を実施した
2	IPW演習		16	学生が自主的にグループワークができるようファシリテーターとしてサポートした。
3	臨床検査基礎演習	○	16	1年生を対象とし、臨床検査学を意義付ける内容とした。また県内病院の施設見学も実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	一般臨床検査学実習	○	24	臨床検査の標準化に準じた、基本技術の習得を行い、最新の機器とメンテナンスについても対応した
2	ヒューマンケア体験実習		20	学内実施であったので、学生が自主的にグループワークができるようファシリテーターとしてサポートした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	多職種連携チームのアントレプレナーシップ概論	埼玉県立大学	専門職連携を学ぶ講座	2026.12.6
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県臨床検査技師会	編集委員会査読委員		2025.06～2026.06
2	埼玉県臨床検査技師会	精度保障施設認証委員会		2025.06～2026.06
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	就職進路	2025.4～2026.3
2	学科等における委員会等	学生支援委員会	2025.4～2026.3
3	学科等における委員会等	IPEセンター員	2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	申請中（特許公開）尿中グロブリン測定試薬	未定	申請中
8. 特記事項			
1	該当なし		